

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	炎症性腸疾患における炎症粘膜および発癌に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>対象者：潰瘍性大腸炎、クローン病、大腸癌、エルシニア腸炎、サルコイドーシスのために大腸の外科手術、あるいは内視鏡手術を受けた方が対象となります。</p> <p>研究責任者：新潟大学医学部 臨床病理学分野 谷優佑</p>
③概要	潰瘍性大腸炎やクローン病といった「炎症性腸疾患」と呼ばれる病気は、原因不明であるとともに大腸癌の発生リスクがあります。私たちは、炎症性腸疾患の炎症の特徴や、発生する癌の特徴を他の癌と比較することを目指し、この研究を計画しました。
④申請番号	2023-0064
⑤研究の目的・意義	炎症性腸疾患の炎症の特徴や癌化の過程を研究し、炎症性腸疾患へのより深い理解を得るとともに、よりよい検査・治療に貢献したいと考えています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	患者さんの年齢・性別と、切除後の検体を含む病理組織診断試料を利用させていただきます。提供して頂いた情報は、氏名などの個人情報を消し、代わりに研究用の番号を付けてその情報だけでは誰のものかわからない状態にし（いわゆる匿名化）、パスワードロックされた端末のみに保管します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、氏名などの個人が得的できる情報が公開されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病理組織診断に用いたホルマリン固定パラフィン包埋検体の病理組織診断後の残余部分、当該病変の肉眼写真、当該病変切除時点での臨床情報（年齢、性別、既往歴、当該病変の臨床経過、腫瘍であれば大きさ、肉眼型、局在、深達度、組織型）
⑨利用する者の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科、医学部臨床病理学分野に所属する、本研究を行うものに限ります。
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医学部 臨床病理学分野 助教 谷優佑
⑪お問い合わせ先	<p>所属：新潟大学 医学部 臨床病理学分野</p> <p>氏名：谷優佑</p> <p>Tel：025-227-2096</p> <p>E-mail：tani@med.niigata-u.ac.jp</p>